

# 技術指導現場における 課題・提言について



宮崎県農政水産部  
広域普及指導員  
黒木修一

## 口蹄疫対策へのご支援 ありがとうございます。

- 全国から、人的・経済的支援をたくさんいただいております。
- また、多くの応援メッセージをいただいております。

心よりお礼申し上げます。

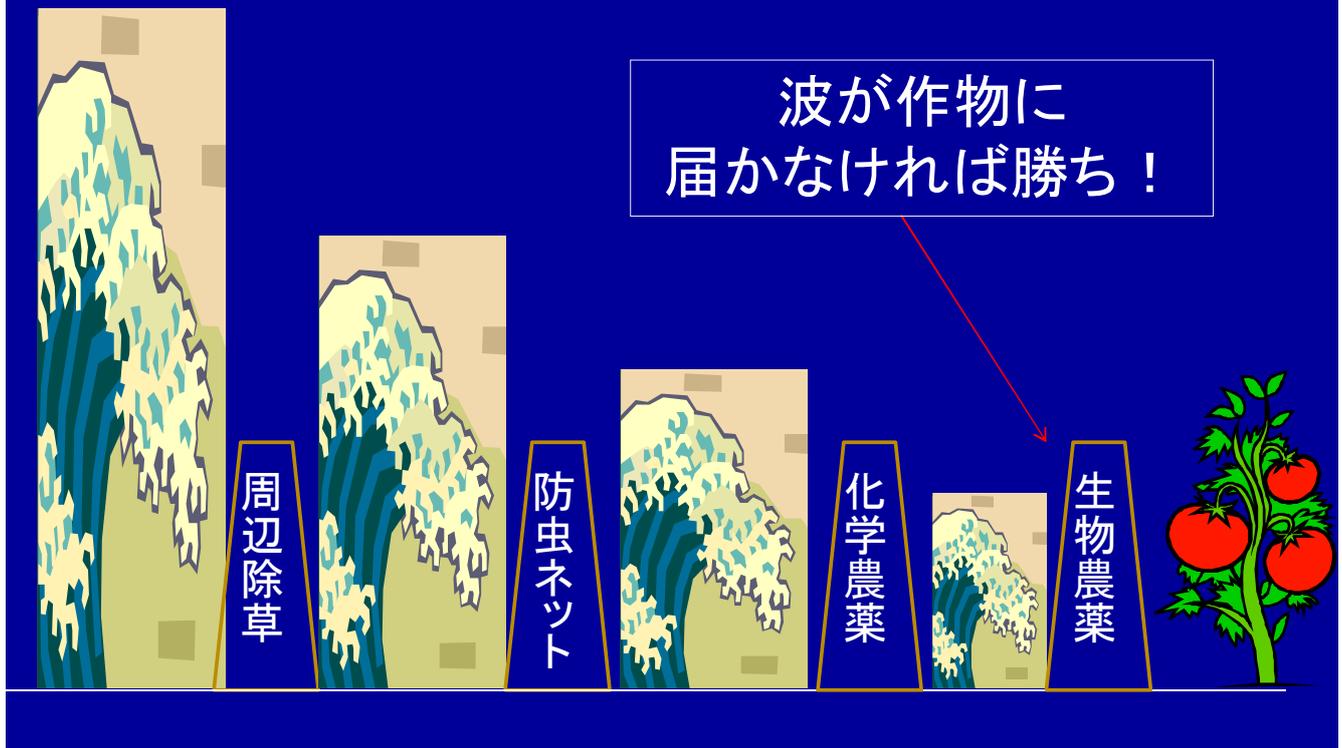
## 今日の内容

- 宮崎県では、生物農薬を始めとするIPM技術が少しずつですが定着しつつあります。
- 宮崎県の生物農薬普及の事例を基に、技術普及上で問題となった点を紹介します。
- 普及のために必要であった「隙間の技術」と普及手法についても紹介します。

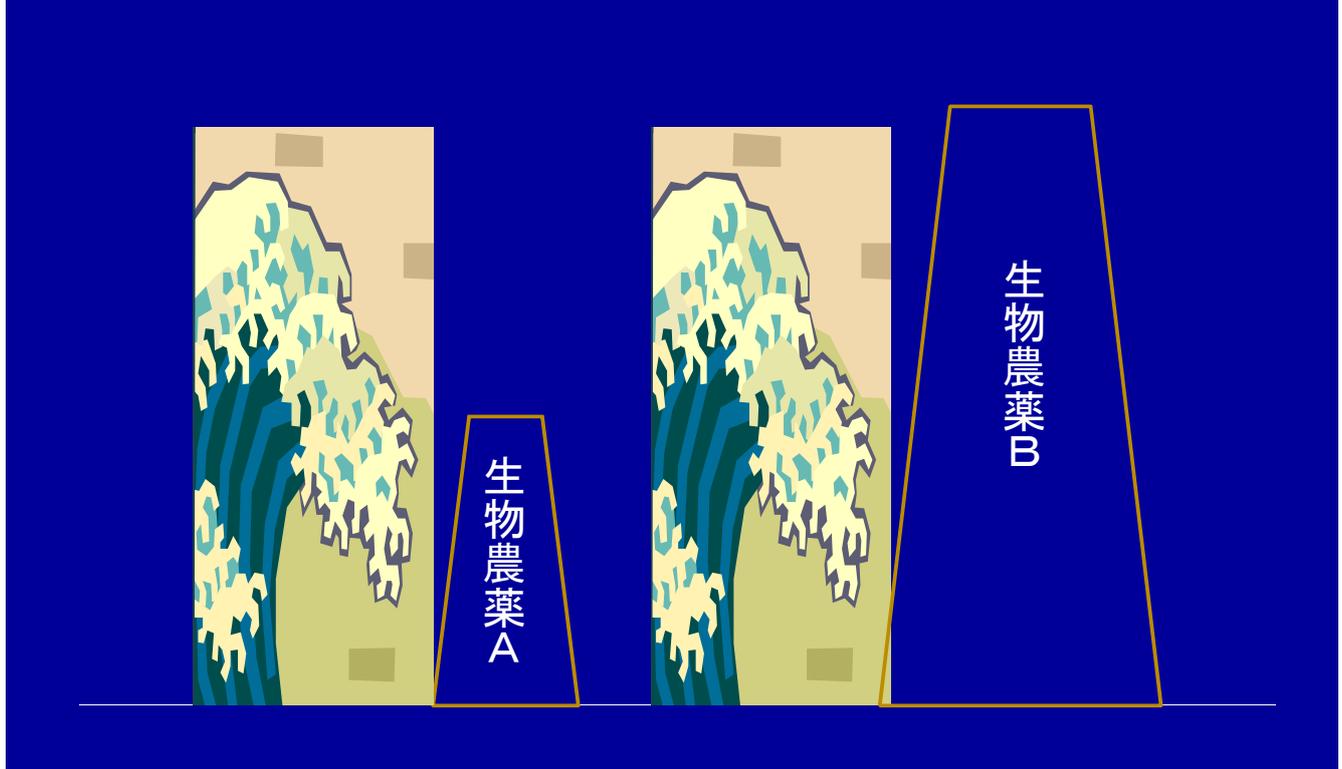
## 最初に結論

- 技術を普及させるには、普及組織の活用を！
- 視野の広いコーディネーターやプロデューサーの育成を！
- 普及では95%の成功は「失敗」。
- 良い技術・資材があっても、他の技術と組み合わせることができなければ普及しない。技術と技術をつなげる隙間の技術・資材の開発を！

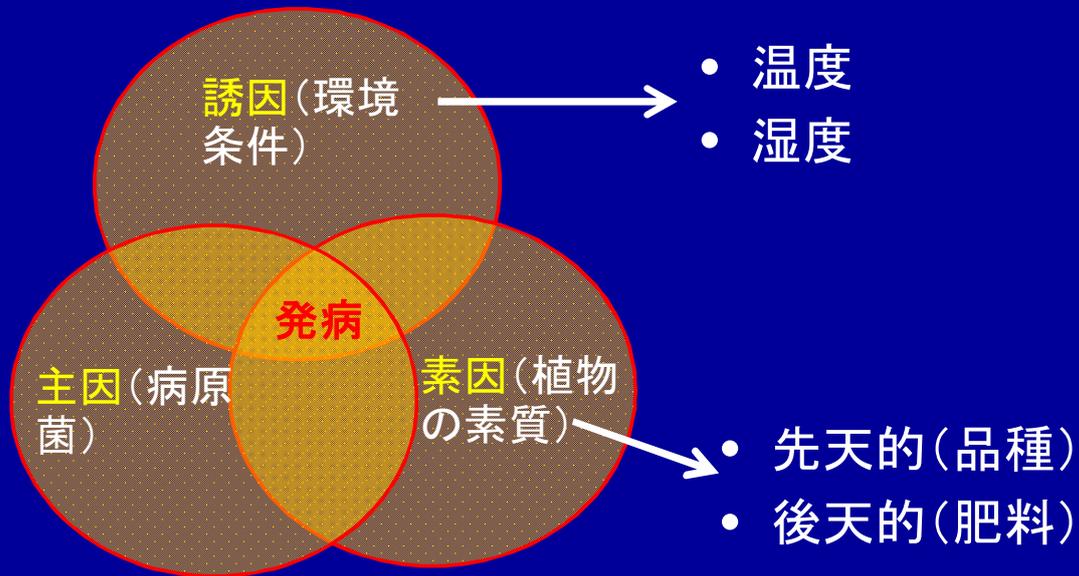
# IPMの概念は、 いくつかの堤防で病害虫が防げるか



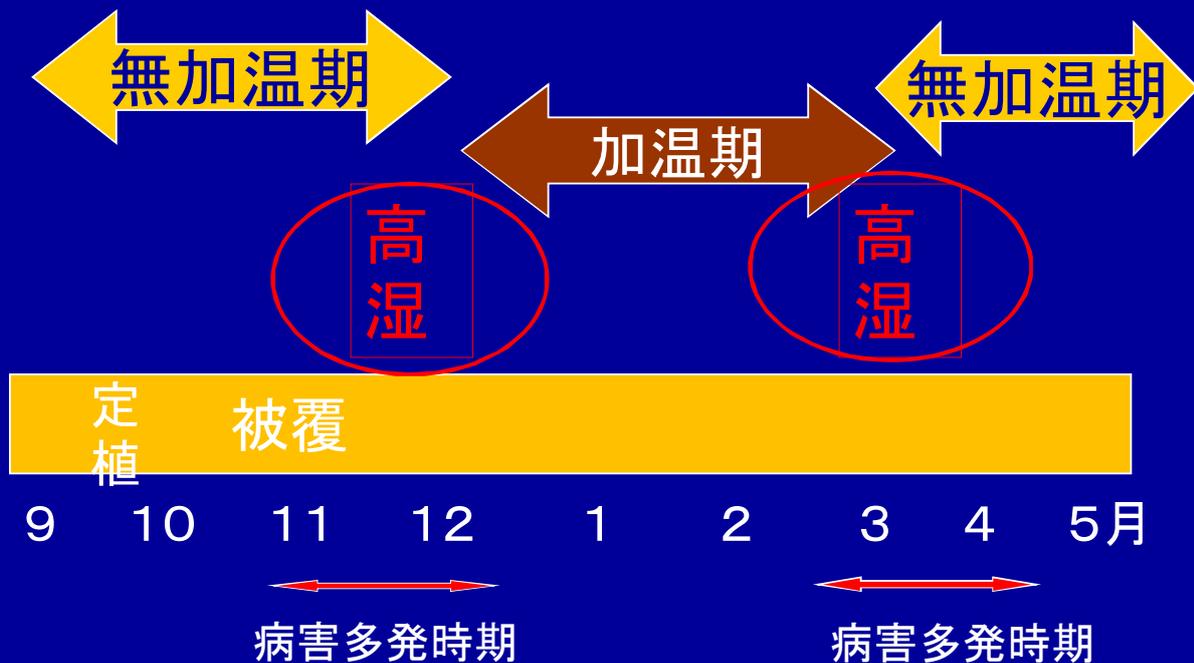
でも、IPMの話しをよく聞いていると、  
堤防の高さを話していることがある



# 教科書にある病害対策は 多くの知識が必要としている



## 施設作における病害の発生と季節



# 施設きゅうりでの防除の重心

3 ホトケラ	20 ネマトリン
12 カスミンホリド	29 スタークルホロ
17 スミブルート	5 テルメイン
17 ミコトクサ	10
25 ホリホキ	25 アグロシリン
2 <u>ネホリド</u>	
2 <u>10-43</u>	16 アグロドエース
16 <u>アミスター</u>	24 アグロシリン
28	
6 <u>ベフド</u>	6 ベストガード
20 <u>カーゼート</u>	20 モスラン
5 <u>ヨネポン</u>	
5 <u>スミレックス</u>	1
15 <u>カスミンホリド</u>	
15 <u>ロブラール</u>	2
25 <u>アクリオラボ</u>	25 アグロシリン
3 <u>カスミンホリド</u>	3 <u>10-7</u>
2 <u>ロブラール</u>	5 アグロシリン

改善後・良くなった

27	
10-92	ネホリド
24 <u>アミスター</u>	
16 <u>トリメニ</u>	37-4
13. フリンコー	ホリホキ
26	モスラン
30	<u>カスミンホリド</u> ・ <u>ロブラール</u>
3.	<u>トリメニ</u> <u>ベスト</u>
8	<u>アミスター</u> <u>スミレックス</u> <u>ホリホキ</u>
13	<u>リトミル</u> <u>アミスター</u>
22	<u>アミスター</u> <u>37-4</u>
7.	10-92 <u>アミスター</u>
15	<u>リトミル</u> <u>ホリホキ</u>
24	<u>カスミンホリド</u> ・ <u>ロブラール</u>
4	<u>アミスター</u> <u>37-4</u>
18	<u>アミスター</u> <u>スミレックス</u>
27	

改善前・悪かった

## 古い資材は汚れている



燃油高騰対策で、古い資材による多層被覆はむしろ推奨されている。

# きゅうり褐斑病菌の付着場所

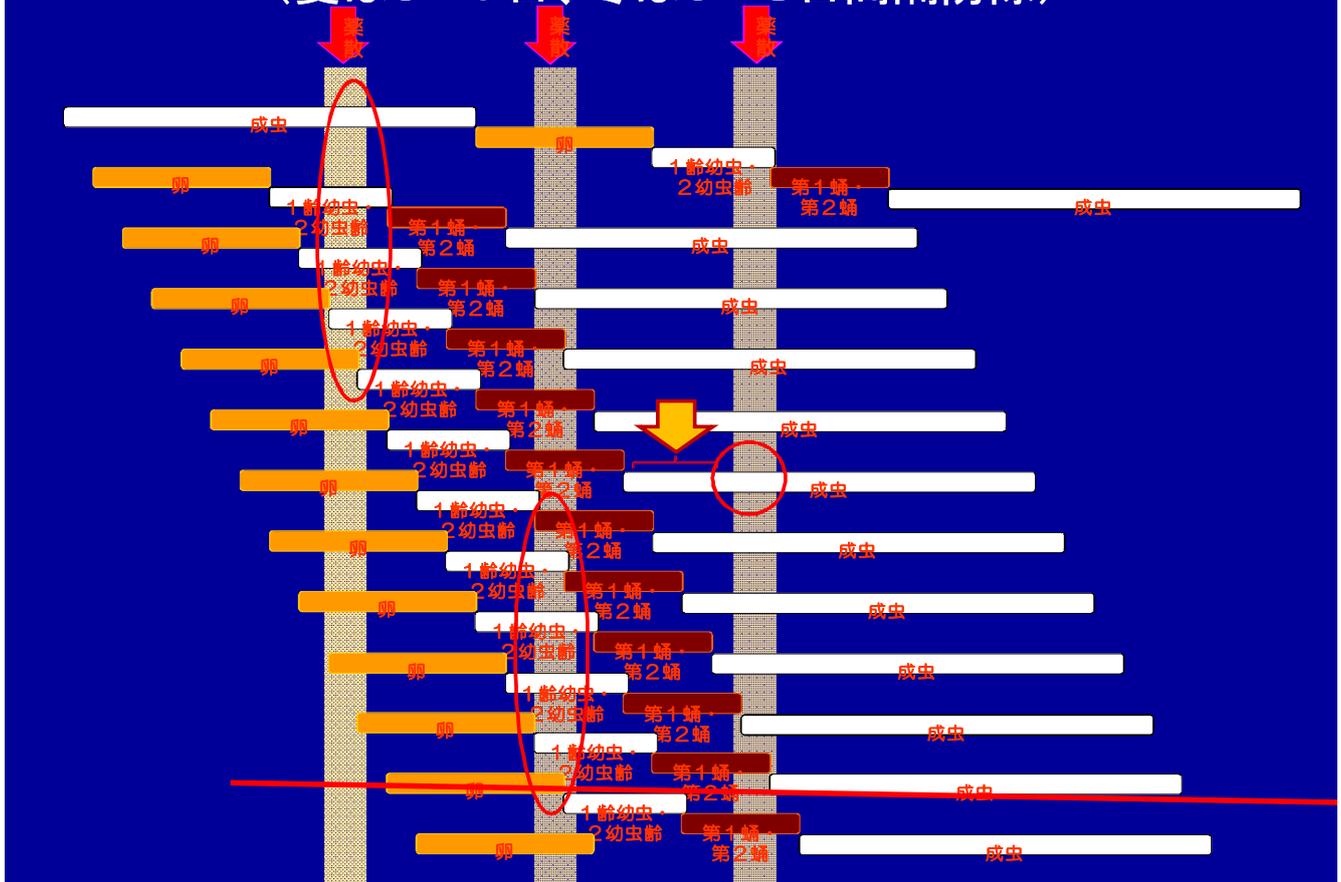
(狭間:1987)

資材	付着孢子量(孢子/6cm <sup>2</sup> )
被覆用ビニール	1.0
パイプ	3.0
支柱	23.7
灌水チューブ	198.3

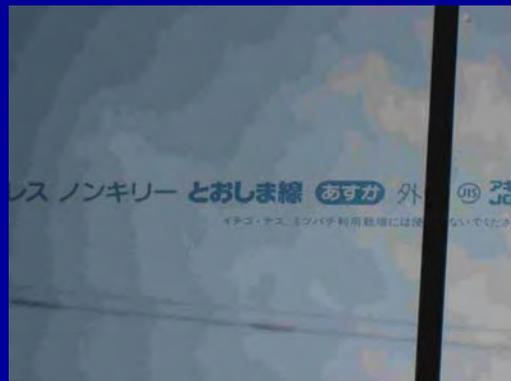
作業が発病を助長している可能性があるもの、その対策の啓発も必要。



# アザミウマ類の対策は一回防除では無理 (夏は5~7日、冬は6~8日間隔防除)



## 多様な資材



## 草勢の管理は今まで以上に 病害虫防除と関係してくる



- ピーマンの毛じはその端的な例
- 草勢が落ちて毛じが減れば天敵の定着数も減る。



## 整枝剪定法との関係もある。



シシトウのように放任に近い整枝・選定をするか、  
捻枝による整枝を行う場合